

第22回日本褥瘡学会学術集会

海外招待講演

(形成外科領域講習)

Elia Ricci

世界創傷治療学会 (WUWHS) 事務総長



New Trends of
Biofilm Based Wound Management

Masahiro Tachi

東北大学 医学系研究科外科病態学講座形成外科学分野 教授

褥瘡管理における Wound Bed Preparation の重要性

Wound Bed Preparation (WBP) は、TIMEの4本柱(壊死組織、感染/炎症、湿潤のアンバランス、上皮化)を基礎とするが、全身的な状況や慢性化の原因を明らかにすることも重要です。WBPの概念と新たな褥瘡管理の新潮流「ウンド・ハイジーン」の概念に基づく戦略的褥瘡管理アプローチを世界創傷治療学会連合(WUWHS)事務総長のエリア・リッチ氏が紹介する本邦初の貴重な講演。司会に国際コンセンサスドキュメント「ウンド・ハイジーン」の専門家諮問委員会委員である館正弘教授(東北大学医学系研究科外科病態学講座形成外科学分野)をお迎えします。

2020年9月11日(金)

17:05~18:05

講演
会場

「御影」

(神戸国際会議場 国際会議室)

定員

175人

司会

館 正弘

(東北大学 医学系研究科外科病態学講座形成外科学分野 教授)

演者

Elia Ricci

エリア・リッチ

(医学博士、トリノ大学特任教授、世界創傷治療学会連合(WUWHS)事務総長、セント・ルカ・クリニック(イタリア、トリノ)難治性創傷診療科科長)

【プロフィール】イタリア創傷ケア協会の創設メンバーの一人。1993年からEuropean Wound Management Society (EWMA)の会員であり、International Journal of Wound Careの理事も務める。

お問い合わせ

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 ホスピタルケア & OPM事業本部 OPMマーケティング部

TEL:03-3814-2704 〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16

共催

第22回日本褥瘡学会学術集会 /
ビー・ブラウンエースクラップ株式会社